



<研修レポート>

## 『平成20年度 中心市街地活性化実務研修』を受講して

桜川市 建設部都市整備課  
中野 恵実

### はじめに

このたび、県都市計画課のご協力により、財団法人全国建設研修センター主催の『中心市街地活性化実務研修』に参加させていただきました。

以下、本研修の主講義の内容を報告したいと思います。

### 地域活性化とまちづくり

東京大学 アジア生物資源環境研究センター  
堀 繁 教授

地域活性化をする上で、景観を整備することは、非常に重要である。人は、外界認知（その場所がどういう場所か把握すること）をする際に、そのほとんどを視覚に頼っている。また、「一目瞭然」という言葉があるように、人は「見る」という行為をした一瞬で、その場所の評価をする。

来訪者が訪れたいと思う景観をつくること、その来訪者が再び訪れたいと思う景観整備を行うことが、地域活性化への道である。

### 「景観」とは？

景観とは、『見ることによって得られる視覚像』のことをいう。目で見ているもの、それが景観である。

良い景観とは、見たいものが他のものに邪魔されずに見やすい状態にある、目が満足する状態のことである。

#### 「見たいもの」

その場所がどういうものか理解する手がかりとなるもの。

#### 「見やすいもの」

ぱっと見たときに、程よい大きさで見えること。  
(見込角 10° ~ 20°)

### ホスピタリティ表現の重要性

ホスピタリティ表現とは、人をもてなす表現のことである。ホスピタリティ表現がされていると、人は「自分のことをもてなしてくれる」と満足する。自分を満足させてくれるそのまちにもう一度行きたいと思うようになり、結果来訪者が増える。

#### 『見る・歩く・休む』

人がまちに来たときにはこの3つを行う。

良い雰囲気のお店・歩きやすい道・良い滞留拠点、その3つにホスピタリティ表現がされていると、人はまたそのまちに行きたいと思うようになる。

店のホスピタリティ表現

#### 【挨拶の装置】

軒下に飾られた植物など

#### 【迎客の装置】

開け放たれた店のドア・のれん・ベンチ・店前の模様の細かい舗装など

#### 【集客の装置】

店の看板、商品の表示など

道のホスピタリティ表現

車道から車道らしさをなくす工夫

樹木は、まちなみの景観を隠すこともあるので、効果的に植栽する。

滞留拠点のホスピタリティ表現

歩行者の邪魔をしない場所に休憩スペースを造る。

### 現地調査 横浜市街地

堀教授の指導の下、前日の講義で学んだことが、どう街に活かされているか、横浜市街地を例に現地調査を行った。



適度な傾斜は、座れる休憩場所となり、子供たちも楽しく遊べる。



景観に配慮して建てられたホテルの向こう側に、赤レンガ倉庫が見える。

植物を飾るとともに、ドアを開放し、店を見えやすくするなど、随所にホスピタリティが表現されていた。



車道らしさを極力控え、「道」のホスピタリティを表現している。

舗装と植栽を工夫することで、自己領域を兼ね備えた休憩スペース。



赤レンガ倉庫の周辺は、景観を阻害するものがなく「良い景観」となっている。

## 中心市街地の更なる活性化

長野県商工会議所 株式会社まちづくり長野  
前タウンマネージャー 服部 年明 氏

なぜ、中心市街地を活性化しなければいけないのか。

中心市街地活性化をする際に、大切になるのは『目的』を間違わないこと・見失わないことである。例えば、商店街活性化が最終目的なのではなく、商店街活性化をきっかけとした、その市町村全体の活性化が目的である。

中心市街地活性化への最後のチャンスは、中心市街地関係者のやる気が出るかどうかである。

## 商業集積と回遊性

商店街は線の街である。商業施設・文化施設・憩いの場等を道の途中に設ける。

道路沿いだけにそのような施設を設けるのではなく、道路から少し入った所にも施設を建築し、「核」となる賑わいの場をつくる。それらを道でつないで、回遊性を高める。

真ん中に車道が走り、両脇に歩道がある道路での歩行者は、主に自分が歩いている道路沿いの店に入る。それによって、往路と復路には別の魅力をつくり出すことができる。

商品を購入するのは、そのまちに来たお客さんである。お客さんの目線に立ってまちづくりを進めていくことが非常に重要。

国や地方自治体の支援を受けて行う中心市街地活性化だからこそ、投資対効果が非常に重要になってくる。まちの環境整備だけで、商店街の賑わいは取り戻せない。

## おわりに

あっという間の5日間であり、一日一日の内容が濃く、充実し、勉強になった日々でした。

今回は、中心市街地活性化実務研修ということでしたが、ここで学んだことは、全て「まちづくり」に通ずると思います。そして、まちづくりには「知る」ということが大切だと感じました。様々な局面において、知ったことを引き出して利用することで、良いまちづくりができるのではないのでしょうか。

今回の研修において、様々なことを知る機会が多くありました。ここには書ききれないくらい、色々なことを学び「引き出し」の内容が増えました。その「引き出し」の中身を、無くさず増やしていくこと、上手く活用していくこと、それを心がけていきたいです。この研修で感じたこと、考えたことを大切にして、今後活かしていきたいと思っています。

最後に、研修にご尽力いただいた建設研修センターの皆様、研修の機会を与えていただいた県都市計画課の皆様、快く研修に送り出してくださいました上司、研修で出会った皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。